

■特別招待作品 :中野裕之監督 RE「サイクル」

《Story》

主人公はクリスタル製の「グラス」。そのグラスはある日持ち主の引越とともに、「いらぬモノ」として捨てられてしまいます。幾度か繰り返される「グラス」との別れの物語を「はるちゃん」という女の子が大人に成長していく過程の中で、繊細な物語として描いていきます。“真の価値あるモノ≠大切なモノ”は何か、という事をテーマに物語は進みます。



中野 裕之(なかの ひろゆき)

“ピースな映像”作家。1958年広島県に生まれる。TV局に5年勤務の後、タイレルコーポレーションを設立。映像的な音楽ビデオを作り続けるかたわら、VIDEO ARTの作家としてブラジル、フランスなどで作品を公開。1993年ピースデリックを設立以来、見る人をなんだか気持ちよくするピースな映像の研究にのめりこんでいる。多数のミュージシャンの音楽クリップを手がけるかたわら、映画監督としても1998年劇場映画第1作「SF・サムライ・フィクション」が世界中で多くの賞を受賞。以後「SF・Stereo Future」「Red Shadow 赤影」「SF Short Films」なども高い評価を得ている。現在、映画監督、ミュージッククリップ、広告、映像作品とその活動は多岐にわたる。



■特別ゲスト: CHAGE

昨年末までCHAGE and ASKAとしてホール、アリーナを含め年間70本を超えるツアー、そして合間を縫ってのリリースと過密なスケジュールを送ってきたCHAGEが2005年、CHAGE and ASKAとしての活動を一旦休止。かねてよりライフワークとし、これまでCHAGE and ASKAの映像作品などの中でも披露することのあった写真や映像に関する新境地を開拓すべく、DVDなどのメニューデザインや映像編集などで縁のあったカナダ人の若手映像クリエイターであり、海外ブランドやその他企業CMなどのCGやプロモーションビデオなどを手がけるJerome Olivier氏とのコラボレーションによりショートフィルム制作にチャレンジいたしました。



■特別招待作品 :CHAGE制作 M「issing Pages」

《Story》

タノクラキヨシはタイムマシンの開発に携わる首席エンジニアである。彼が開発したタイムマシンの発表記者会見で記者たちのタイムマシンの是非に関するモラル的批判をさらりとかわし、帰宅すると、そこに怪しい集団が現れキヨシを連行しようとする。罪状はコアに対するテロ行為！彼らはコアと呼ばれ、将来キヨシの発明したタイムマシンを自分たちの利益を得るために悪用したりする集団であった。しかし、アーカイブと呼ばれる正しい歴史を維持しようと活動する反対勢力のグループによってキヨシは救出される。コアが歴史を操作するのを阻止すべく先回りし元々の歴史の流れを守ることを任務とするアーカイブに未来のキヨシが協力をすることで彼はコアから狙われる身となる。



■タイトル: Missing Pages
 ■企画: CHAGE、Jerome Olivier
 ■演出: Jerome Olivier
 ■撮影: CHAGE
 ■音楽: 作曲 CHAGE/サウンドプロデュース 松本晃彦
 ■脚本: Jerome Olivier

報道関係の皆様からの掲載に関するお問い合わせ先

ショー・ショートフィルム フェスティバル EXPO 2005 PR事務局: 小池、楠本、松山
 TEL.03-6825-3388